

【第2回】新見駅周辺まちづくりワークショップ

～「方向性を踏まえた」目指す将来像(ライフスタイルや空間像)と
その具体化に必要な「ひと・もの・こと」を考えよう!～

日時：令和3年1月29日(金)

18:30～20:00

場所：新見駅前交流センター

〈本日の内容〉

・開会

新見市(建設部 都市整備課)挨拶

- | | | | |
|----|---|---|-----|
| 説明 | { | 1. ワークショップの目的と全体プログラムについて | 資料1 |
| | | 2. 前回(第1回)の結果概要(振り返り) | 資料2 |
| | | 3. 本日のワークショップの進め方について | 資料3 |
| WS | { | 4. グループごとにワークショップ
・簡単な前回の振り返り(グループごと)
・ワークの実施：
目指すライフスタイル(駅周辺エリアでの過ごし方) = <u>やりたい「こと」と
 それに集まる・それを仕掛ける「ひと」、必要になる「もの」</u> を考える | |
| | | 5. 各グループ発表 | |
| | | 6. おわりに(次回の予告・ご案内) | |

・閉会

★第3回の予定：令和3年3月10日(水)18:30～ /新見駅前交流センター(予定)

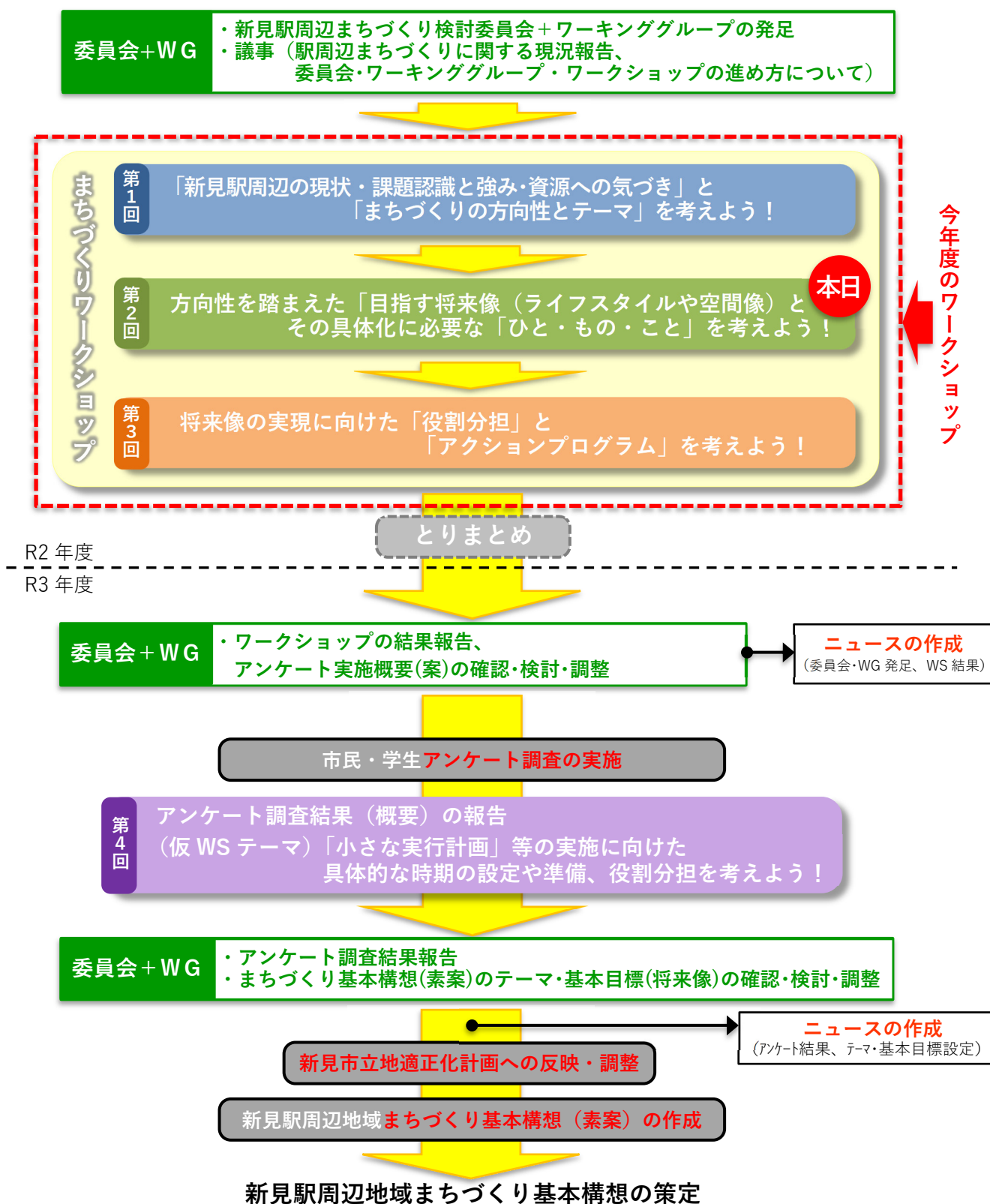
【テーマ】将来像の実現に向けた「役割分担」と「アクションプログラム」を考えよう!

■ワークショップの目的と全体プログラムについて

1. ワークショップの目的

新見駅周辺地域の現状・課題や上位関連計画を踏まえ、住民・事業者・新見公立大学・新見市の協働による新見駅周辺地域の都市機能の充実やにぎわい創出を目指したまちづくりの方向性の共有・取組み施策のアイデア出しを行い、まちづくり基本構想（案）検討の基礎とします。

2. 全体プログラムとその後の予定について



【第1回】新見駅周辺地域まちづくりワークショップまとめ（ワークシート②）

A班+B班+C班

【ワーク②】まちづくりのテーマ・スローガンの検討

班名	まちづくりの方向性・テーマ（スローガン）
A班	A-1：みんなで進める 人がつながる 未来の新見駅前 まちづくり
	A-2： やる気213% (にいみ) パワー でつくる 駅前まちづくり
	A-3： 新見を愛する人 で進める あたたかくワクワクする 未来につなげる 駅前まちづくり
	A-4： やる気213% で新見を愛する人による 未来につなげる 駅前まちづくり
B班	B-1： 地域住民 による 地域住民 のための もっとも 住みやすい 駅前まちづくり
	B-2： 市民 と 行政（新見市） による 駅利用者のための ゆとりの駅前 まちづくり
	B-3： すべての市民 が 半日 ゆっくりと過ごせる ゆとりの駅前 まちづくり
	B-4： 産学 連携で進める イベントによる「おたく」な駅前 まちづくり
	B-5： 子どもと過ごしたい人 のための バラエティな施設をやさしくつなぐ駅前 まちづくり
	B-6：駅利用者・ 地元住民 ・ 学生 のための 滞留型 駅前 まちづくり
	B-7：新見に 住む人 ・ 来る人 が「いい街」と思える駅前まちづくり
	B-8： 大学 ・ 保育所 との連携で進める 住民による子育て 駅前まちづくり
	B-9：SDGs を意識した 環境 ・ 育児 ・経済を Mix した駅前まちづくり
	B-10：人・街・ 自然 ・ 芸術 が調和する 先進的な駅前まちづくり
	B-11： 市民・住民 による 街の未来のための 100年先まで住み続けられる 駅前まちづくり
C班	C-1： 市民 ・ 商業者 ・ 学生 ・ 美術館 による 地元住民 ・ 学生 ・ 来街者 のための 集いの駅前 まちづくり

【凡例】

[主体・人等]

地域住民・市民	新見を愛する人
地元事業者・商業者	美術館
大学・学生	来街者・観光客
子育て人・保育所	行政（新見市）

[まちづくりのテーマ・イメージ]

青 字 ：未来へのイメージ	赤 字 ：人の滞留・集い
黄 字 ：住み心地・住み継ぎ	橙 字 ：育児・子育て
ピンク字 ：やる気・ワクワク・バラエティ	緑 字 ：自然・環境
青緑字 ：あたたか・ゆとり・やさしさ	水色字 ：芸術

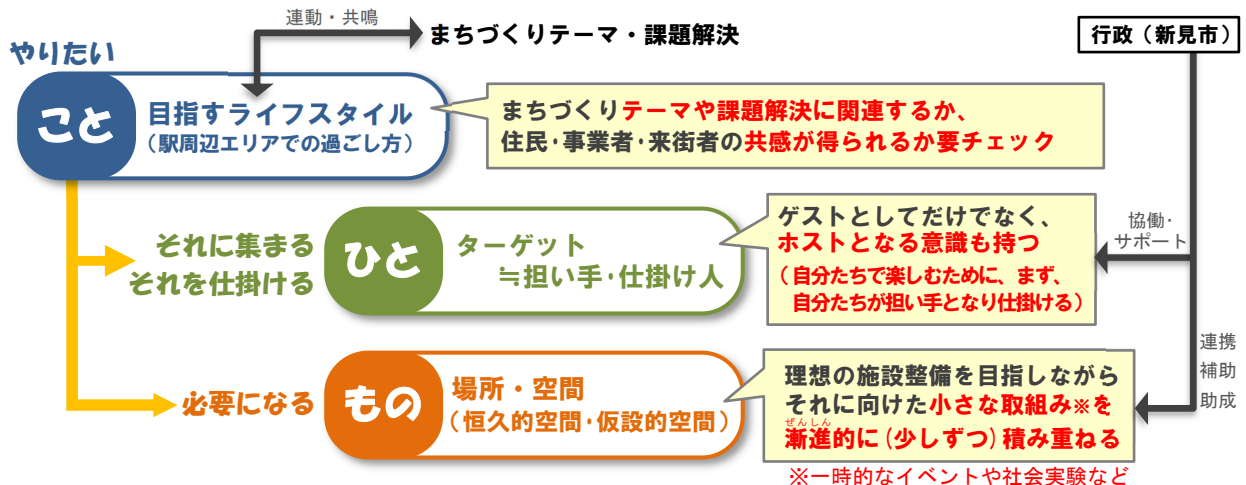
■本日のワークショップの進め方について

1. 本日の（第2回）ワークショップのテーマ

第2回

方向性を踏まえた「目指す将来像（ライフスタイルや空間像）」と
その具体化に必要な「ひと・もの・こと」を考えよう！

2. 地域主体のまちづくりの考え方について



3. ワークショップの進め方

1) ワークの実施（意見出し・共有）【約 65 分】

**目指すライフスタイル（駅周辺エリアでの過ごし方）＝やりたい「こと」と
そこに集まる・それを仕掛ける「ひと」、必要になる「もの」を考える**

- ・ 前回ワークショップでの現状・課題や強み・資源、まちづくりの方向性とテーマを踏まえながら駅前地区の目指す将来像＝目指すライフスタイル（駅周辺エリアでの過ごし方）＝やりたい「こと」をまず考え（10分程度）、「こと」を整理した上で、そこに集まる・それを仕掛ける「ひと」、必要になる「もの」（恒久的な施設空間＋簡易・仮設的な空間）を考える。

（大判ワークシート表（A0用紙））

(第2回) 新見駅周辺地域まちづくりワークショップ **A班**

[ワーク] やりたい「こと」、そこに集まる・それを仕掛ける「ひと」、必要になる「もの」を考える			
やりたい「こと」 (駅周辺エリアでの過ごし方) (黄付箋 □)	そこに集まる それを仕掛ける「ひと」 (ターゲット≒担い手・仕掛け人) (黄付箋 □)	必要になる「もの」(場所・空間)	
		恒久的な施設空間 (黄付箋 □)	簡易・仮設的な空間 (赤付箋 □)
例) 本を読みながら、軽食を取ったり、カフェや紅茶で、ゆっくりと過ごす	例) 駅利用者 住民・学生 高齢者、観光客	例) ブックカフェ	例) 空き地や駅前広場への簡易なベンチ・テーブル・日よけパラソル等の設置 ・移動式店舗(キッチンカー)による飲み物や軽食の販売 ※集客が見込める既存の祭りや美術館のイベント等と合わせて短期間実施する等

「一つの「こと」「ひと」「もの」を
ワンセットとして横一行で整理する

2) 各グループ発表【15分】

- ・ ワークの終盤で事前に決めておいた代表発表者（参加者の中から1人 or 2人程度）によるグループワークの結果（大まかな意見の概要）について発表する。（1グループ5分程度）